

例会 NO 106

No 3- 22 1992.12.16 発行



1992~1993RIテーマ
まことの幸福は
人助けから
RI会長 クリブ・ダクターマン

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

~~~~第106回例会報告(12/9)~~~~

司会 SAA 村上 久

☆点 鐘

会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング

「日も風も星も」

ソングリーダー

SAA 今井 正司

☆お客様紹介

会長 赤尾 恭雄

小西平三郎様 (東京多摩RC)

富室 健様 (東京多摩RC)



☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

* 第2回多摩東分区連絡会報告

12/4 (金)PM 6:00より、府中大国魂神社にて開催。中村地区副幹事、鹿島分区代理その他、地区・分区役員より概要下記の通り報告があった。

《地区関係》

▲ガバナー公式訪問完了報告

パシフィックベースンを除いて国内は完了。パシフィックベースンは12/12から10日間の日程で公式訪問の予定

▲地区行事予定

先日、地区社会奉仕委員会を京王プラザホテルで開催。前半期の地区行事は順調に推移。

▲環境保全 500円玉募金の実施状況

区部の一部のクラブを除いて、運動に参加。募金の納付も軌道に乗りつつある。多摩3分区は全クラブ実施。

《分区関係》

▲次年度多摩東分区代理について

紫野ガバナーノミニーの特段の指名なく、恒例に従い調布RCより推薦、同クラブの理事会にて次の通り決定したので、ガバナーノミニーに報告。

分区代理：金子佐一郎会員

分区幹事：岩佐 敬山会員

▲IM関係の報告

(分區別出席率) 多摩南分区 49%

多摩中分区 50% 多摩東分区 59%

(クラブ別出席率上位5位)

①調布むらさきRC (東分区) 77%

②飛火野RC (南分区) 76%

③昭島中央RC (中分区) 75%

④多摩グリーンRC (東分区) 72%

⑤八王子RC (南分区) 70%

▲分区行事について

特に、新旧分区連絡会の会場について、従来の会場以外に各クラブの希望があればそれを踏まえて、次年度分区代理とも相談の上、日程等詳細を取り決める。

▲環境保全 500円玉募金運営委員の推薦について。小倉ガバナーからの要請により、

種々検討した結果、当分区としては調布RC高橋会長を推薦することに決定した。

《各クラブの活動報告》

拡大増強、例会出席等の状況・R財団及び米山等寄付の実績、奉仕活動の進捗状況、その他クラブの近況について、各クラブ会長より順次報告がなされた。

各クラブの報告から推察するところ、11月10日締められました「意義ある業績賞」の申請は、当クラブの他多摩東分区では稲城RCが提出している模様である。

《地区大会のご案内》

ガバナー及び大会実行委員長より地区大会の案内及び仮プログラムが送付された。

概要は下記の通り。

大会第1日；1993年3月12日（金）

大会第2日；1993年3月13日（土）

会場：新高輪プリンスホテル

※実施要領については、後日配布の仮プログラム参照。

▲当クラブは、同週3月10日（水）の例会を地区大会に振り替えることを、年間スケジュールで決定している。更に創立満3年未満の当クラブでは全員出席義務がありますので、クラブ予算の支出をもって全員登録をする。従って、地区大会の出席率が例会の出席率としてカウントされるので、最低いずれか1日は出席するよう今から予定されたい。

☆ 幹事報告 幹事 遠藤 二郎

* 例会等の変更

東京調布RC

12/21(月) → X 2 例会 (東京外村町)

12/28(月) → 休会 1/4 → 休会

1/11(月) → 新年例会 (東京外村町)

東京日野RC

1/6(水) → PM 0:30 サカエヤ茶楼

1/13(水) → PM 6:00 山彦

1/20(水) → PM 0:30 高幡不動

1/27(水) → PM 0:30 多摩テック

東京稲城RC

12/24(木) → PM 6:00 夜間例会に変更
ファミリー X マルティ ぷりあーんクラブ 例会場

12/31(木) → 休会

☆ 委員会報告

★ 出席委員会 出席委員長 宮本 誠

〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	45	44	0	1	97.78%
前回訂正	45	37	1	7	84.44%

〔先週のメーキャップ〕 大熊 将夫

〔本日の欠席者〕 大松 誠二

★ 親睦委員会 親睦委員 森田 舞子

ニコニコBOX

富室 健

(多摩RC)

本日はお世話様になります。

伊神 稔 今月は萩生田会員と家内が誕生月なので。

横倉 舜三 明日は特別号を発行いたします。

佐伯 和廣 良い日ですね。

遠藤 二郎 小西様、富室様ようこそ。

赤尾 恭雄 親睦委員会の皆さん、クリスマス企画、ご苦労様です。また今夜、社会奉仕委員会は炉辺会合を開かれるそうでご苦労様です。

吉沢 洋景 全く、忙しい季節となりましたネー。

新海源四郎 師走、気忙しいですね。

大熊 将夫 3回例会を休みました。皆さんの顔が輝いて見えます。

中山順一郎 ワイフの誕生祝ありがとうございます。

藤本 吉文 手の方も良くなって来たので。

杉田 誠 やっと X マスの企画が出来ました。

森田 舞子 今年も残り少なくなりました。ロータリーに入会し、お友達が増え、最高の年でした。

宮本 誠 今日は欠席届けがないので期待していいかな？

以上合計 29,000円



【Xマスパーティの企画報告】

親睦委員長 杉田 誠

12月23日(水) PM 6:30~7:00 年次総会

PM 7:00~9:00 Xマスパーティ

会場 京王プラザホテル宴会場

登録料 会員 12,000円(全員登録)

夫人 3,000円

内容はプログラムの通りです。

3分間ミニ情報

『青少年活動月間』

高野 範城

地域での青少年の活動に個々のロータリアンが密着して活動するものと思われます。クラブとして行うよりも青少年の場合においては野球にしても何にしても、それぞれの出来



ている団体に援助が、ある意味ではあまりなされていないと云う事です。多摩市にはありませんが、援助が必要とされると云う事であれば、両親がいない、両親の一方が保護に欠けると云う事で収容されている幼児施設に関しては援助が必要とされている人達だろうし、それから多摩市について言えば母子家庭、その他の人々について言えば援助が必要とされている人達と思っています。そういう様な困難な家庭についての援助は個々のロータリアンがどうするかと云う問題と同時にクラブとしてどうしたら良いか考えております。又同時に青少年協議会等の団体に個々のロータリアンとして入ると同時に保護司活動の協力を加えてBBS活動にどうやって個々のロータリアンが参加して行くかが、ある意味では青少年奉仕の地域に密着した大きな活動だと思います。

『職業奉仕月間』

杉田 誠

ロータリアン各自が、自分の職場で奉仕の理想を分かち合えるような指導と援助を考えるような方策を考案し実施するためのものです。適正な労使関係を築き、若い人々のために就職指導を行ったり、同業組合などを通じ

営業活動を公正な取引にする様なことも含まれます。そして各ロータリアンの職業活動を反省させ、ロータリーの精神を広く一般の人々に理解させることに努めます。以上の様なことを強化する月間です。又、四つのテストを実施することに月間中努力する必要があります。



†

『職業分類』

城倉 正博

職業分類について、当クラブは193業種ある中で会員増強につながる様、職業分類をして行かなければいけないと思っています。その中で片寄った職業分類がありますので、これからも職業分類を見直して、もっと増やさなくてはならない職種もあると思いますのでこれからの課題として増強に努めたいと思います。



『職業宣言について』

職業奉仕委員 吉田 文夫

ロータリーの綱領の第2項に「事業および専門職務の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な業務は尊重さるべきという認識を深めること、そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。」と記されております。

このことを明確に定義する手段として1989年RI規定審議会で採択されたのが、下記の職業宣言です。これは私達の職業遂行の倫理的行動基本であり、全ロータリアンは自己の事業および専門職務活動の尺度として「四つのテスト」と共に活用することが出来ますのでここにご紹介します。

「職業宣言」

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするもの

である。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に命ぜよ。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道徳的基準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係をもつすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- 5) 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通に得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

以上

【卓 話】 『漢方薬について』

小坂 一郎会員

私達が漢方を勉強して行く上で二つの本があります。一巻が「傷寒雑病論集」で、これは寒さに傷られるという病、いわゆる風邪をひくとか、暑さ寒さに傷られた病気ということです。もう一冊が「金匱要略」という本で、



この二冊が私達のバイブルでもあります。

実は3千年前からこの様な紙に書いた本になっていた訳でなく、現物は竹の短冊に一行ずつ書いてあり、これをまとめた分けですから膨大な竹筒があったと云う事です。

通常、白文で目を通していく訳ですから、どう送り仮名をつけ、どう読んでいったら良いのかと云う事は学問の上達の度合いによるものであり、従って読み下し方、読み方、及び解説、解釈の仕方が異なるのは通例です。一回振り仮名をつけると、この段階でその人の学問はストップとなってしまうので、本当はこの様な訳は興しません。

「傷寒雑病論集」には序文がありまして、これを私達は座右の銘としてやっている訳です。どう云う事が書いてあるかという、例えば、根本を勉強しないでただ上辺だけで見ているなら、病を診るに非常に危ないとか、又このような本を何故作ったかという、自分の相続、いわゆる親戚、縁者等が病んだ時、そういう人々を助ける為の本であるということです。

漢方を勉強している時、先ず一番最初に言われる事は、先ず自分を治しなさい、それから自分の家族を治しなさい、その次にそれが出来るようになって初めて他人を治しなさいと云う事です。

それではここで「傷寒雑病論集」の序文にざっと目を通して行きたいと思います。

—— (本文は別途配布 中略) ——

現在健康食品が流行っています。例えばこれを食べれば肝臓が治るとか、そういうことに右往左往してもらっても困るというのも事実です。余りその様な勉強をしていない薬局に行くと話を聞けば、患者自身の寿命を短くすることもあるということも書いてあります。

私もまだ15年間に3回しか読んでおりませんので、まだまだ勉強しなくてははいけない。終生勉強だと頑張っていくつもりです。



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄
幹事：遠藤二郎
会報委員長：奥田文夫

副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
杉田 誠・佐伯和廣・隅 耕造
小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会場 多摩そごうアパート7F サファイヤパンテールム

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30